

## 幸せな一年でありますように

皆様、明けましておめでとうございます。夢と希望の新年を迎えられたことと存じます。

昨年は伊勢神宮の式年遷宮効果も少しづつ薄れ、鳥羽市にとって厳しさが増す状況であったと思います。お伊勢さんに頼るだけではなく、鳥羽独自の魅力アップが求められた年でありました。

そのような中、「ウオーキングのまち鳥羽」の実現を目指して、ウオーキングサポート事業をスタートしました。ひとりでも多くの市民の皆様には歩いていただいて、楽しみながら健康を維持することのできるまちづくりを進めてゆきたいと思っています。

また、10月14日佐田浜に念願の鳥羽マルシェがオープンいたしました。今後改良を加えながら、市民に愛され、農業、漁業そして観光業に貢献できる施設に成長していくことができよう、引き続きのご愛顧をお願いいたします。

本年におきましては、新安楽島保育所への移転が実現します。また市内すべての幼稚園、小学校、中学校のエアコン整備が完了します。新しい定期船の建造や消防南鳥羽出張所の開設に向けた事業もスタートする予定であります。消防南鳥羽出張所につきましては、南鳥羽地域の市民の何十年来の願いであったと思います。

この数年、市職員を減らし続ける一方、消防職員については逆に少しずつ増加させ、24時間体制で、消防・救急に対処できる見通しが立てられるところまできました。鳥羽市民の安全安心の生活に、大いに寄与できるものと考えております。

昨年は各地において地区懇談会を開催させていただきました。多くの皆様からいただきましたご意見をしっかりと受けとめ、実現できるよう頑張つてまいります。

市民の皆様にとりまして、幸多き一年となりますようお祈りし、ご挨拶いたします。



鳥羽市長 木田 久圭一

## 祝 新春

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎え、お慶び申し上げます。日頃は、市議会の活動に対し、ご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

年頭に当たり、鳥羽市議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、国に於いては人口減少と東京一極集中の是正を目指す地方創生の理念を示した「まち・ひと・しごと創生法」が成立し、人口減少対策や地方活性化に向けて、いよいよ本腰が入ってきた感じがします。

本市に於きましては昭和29年に市制が施行されてから60年の歳月が過ぎました。この間、人口は3万人から約2万人まで減少してきており、若者世代を応援する子育て支援や定住促進に関する施策を市長と共に進めているところ です。

市議会では市民の皆様身近で開かれた議会を目指し、本会議や常任委員会、全員協議会等の全ての会議をケーブルテレビやインターネットで中継したり、各種団体や各町内会、自治会へ出向き意見交換会や報告会も実施しています。

また、昨年5月からは市民の皆様ニーズに即応するため、年間を通して議会を開いている「通年会期制」も導入いたしました。

このような活動が全国的にも注目され、全国各地から視察に来て頂いており、昨年は約700人の方に鳥羽に宿泊して頂きました。

今後おきましても更に議会改革を進めながら、市政を取り巻く環境の変化を的確に捉え、市政の課題の解決に向け全力で取り組んでまいります。

今後一層の皆様のご支援、ご協力をお願いいたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。



鳥羽市議会議員 野村 保夫

# 謹賀新年